

先進地調査等報告書

令和1年7月9日

天童市議会議長様

会派名 政和会

代表者氏 後藤和信 印



下記により、会派において調査（視察）が終了したので報告します。

記

期 間	令和1年6月24日（月）から令和1年6月25日（火）まで
調査（視察）先 調査項目	埼玉県吉川市 公共施設の複合化について 千葉県我孫子市 地域活動の活性化について
調査（視察）目的	埼玉県吉川市 施設の複合的利用 千葉県我孫子市 地域活動の活性化について
市政との 関連性	埼玉県吉川市 1つの目的の為に施設を作るのではなく、複合的施設にすれば効率的な運営が可能になる。 千葉県我孫子市 地域活動が停滞化している中での活性化へ課題の発掘。
調査（視察）内容	埼玉県吉川市 学校施設と他の機能との複合化 運営管理 小学校と公民館は教育委員会が管轄 老人福祉施設は市長部局からの委託により社会福祉法人が管理・運営 子育て支援センターは市長部局からの委託により NPO 法人が管理・運営 学童施設は市長部局が管理・運営 1 学校内に地域活動の施設を導入した経緯について 新興住宅地において、学校施設の整備と相まってその他の施設の整備と併せて実施した。小学校を中心にした乳幼児から高齢者まで様々な年代が利用でき

るように複合化を実施した。

特別教室や体育館は地域開放を前提に1階の配置、普通教室や職員室は2階以上に配置して管理。

## 2 複合化した事による効果について

教育上の効果としては就学前の親子が子育て支援センターを利用することによって将来子供が通う小学校の馴染みができて、小1ギャップの緩和が図られる。

高齢者ふれあい広場や地区公民館と複合化した事によって児童と施設利用者があいさつを交わす等、日常的に交流する場が生まれ、社会性の向上効果が生まれた。

様々な世代が利用する複合施設になったことで地域コミュニティーの拠点となっている。避難訓練などは地域と一緒に実施している。

## 3 今後の公共施設の複合化についての考えは

今後の予定は考えていない。

### 課題

校舎の1階フロアの活用をどうするか。

千葉県我孫子市

地域活性化について

平成25年度に我孫子市地域コミュニティ活性化基本方針を策定。

## 1 住民の高齢化等での役員などのなり手不足への取り組みについて

定年を迎えた人達は豊かな経験や能力、知識を持っていく方々をいかにして地域の担い手として発掘していく必要がある。

市が実施したアンケート調査によると、団体が抱える問題点として、構成員の高齢化が50.6%、役員のなり手がいないが32.5%、行事への参加者が減少が19.9%となっている。

課題として、人の課題、情報の課題、連携・連帯の課題、活動範囲の課題、活動資金の課題、活動場所の課題、組織運営の課題の7つのテーマを設定。

## 2 地域活動への住民参加への取り組みについて

まちづくり協議会を地域ごとに10の協議会を設立し、近隣センターを拠点にして活動している。役割として①地域住民間の交流と連携し、コミュニティーづくりを進める。②地域を代表する組織として近隣センターの管理運営。③地域の方との親睦・交流を土台に地域問題の解決と住み良い環境づくりを進める。

### 活動例

夏祭り、餅つき大会、新春の集い、夏のフェスティバル、クリスマス会、文化祭などを実施して親睦を図っている。

## 3 若者の地域離れによる地域の衰退への取り組みについて

仕事の多様ななどで地域活動に参加が難しい現状にあるが、地域コミュニティーづくりに参加できるように積極的に働きかけてくことが重要。

<p>市政の課題への参考等感想</p>	<p>埼玉県吉川市          学校施設の中の1階部分に子育て支援から高齢者のサロンの施設が複合的に設置されていることから年代間の交流などの促進に対しては非常に良い取り組みをしていた。新興住宅地域の中での一つの課題解決の手段としても参考になった。一つ一つの施設を作るよりも複合的な取り組みでの人件費、光熱費などのランニングコストの削減効果も感じられた。(後藤和信)</p> <p>千葉県我孫子市          地域の活性化については高齢化に伴って多くの課題が見えてきていた。市民に対するアンケート調査などを踏まえて平成25年に地域コミュニティ活性化基本方針を作成していた。天童市でも調査を踏まえての基本方針の策定の必要性を感じた。(後藤和信)</p>	
<p>参加者の感想等</p>	<p>参加議員氏名</p>	<p>感想等</p>
	<p>結城義巳</p>	<p>埼玉県吉川市 学校施設と他機能との複合化について          新興住宅地に新たに新校舎を建設する時に計画している。既存の校舎を改造してでは不可能であることを感じた。          乳幼児から高齢者まで、様々な年代が利用する施設として複合化している。          小学校の特別教室や体育館を地域開放を前提にして1階に配置し、普通教室や職員室などを2階に配置して管理しやすくしているなど、地域ニーズに応じた公共施設として工夫しながら活用している。本市でも市街地に小学校を新設する際は、十分検討して実現してほしいと感じた。</p> <p>千葉県我孫子市 自治体活動の活性化について          市内に10の「まちづくり協議会」を組織している。その役割は、①地域住民間の交流と連携、②近隣センターの管理運営、③地域問題の解決と済み良い環境づくり、となっている。センター毎に事業を展開しているが、事業内容は本市の各分館で行っているものと、各地区の公民館で実施している事業を併せたような内容を、それぞれの「まちづくり協議会」で行っている事業のように感じた。やはり都会近郊であり、主催者が望んでいるほどの人数は参加していないように感じた。本市議会報告会も極めて参加者が少ない現状であり、その対策はしっかり検討しなければならないものと思った。</p>
	<p>松田光也</p>	<p>埼玉県吉川市          公共施設の複合化について          1. 学校内に地域活動の施設を導入した経緯について</p>

美南小学校が立地する美南地区は、JR 武蔵野線吉川美南駅に隣接し、都市再生機構等が土地区画整備事業により計画的な基盤整備を行った新市街地である。既存の公共施設がなかったため、全例である吉川小学校の事例を踏まえ、複合施設として整備した。複合する施設については、事前に庁内に紹介をし、希望があった施設を整備しており、除外した施設は無い。また、議会等からの要望もなかった。天童市でも、公共施設の複合化について積極的に考えていかなければならない。

## 2. 複合したことによる効果について

### 教育上の効果

就学前の（主に）母親が子どもと一緒に子育て支援センターを利用することにより、将来子どもが通う小学校に馴染みができて、親も子どもも安心感を持って1年生になることができる。

### 地域住民への効果

当該施設は様々な世代の方が利用する施設が複合され、地域コミュニティの拠点となっており、今後も地域活動の活性化が期待される。

### 財政上の効果

施設建設にあたり、各施設を単体で整備するよりも共有部分等の建設や用地の確保等にメリットがあった。又、ランニングコストも一括発注によるメリットがある。天童市でも見習う必要がある。

## 千葉県我孫子市

### 地域コミュニティ活性化について

地域で暮らす人々が繋がり、協力しあい、地域を暮らしやすくしていくことを図っていく。我孫子市では、11のコミュニティエリアを設定し、各エリアに金連センターを整備している。

地域の住民が中心となった建設委員会を設置し、建設後は同メンバーを中心としてまちづくり協議会に設置の管理運営を委託している。現在10館が整備されている。住民間、住民と行政間の利害調整を行い、住民自らによって構成され、運営される住民自治を担う中心組織として位置付けられている。

地域会議において、地域の課題を明らかにし、解決のきっかけを見出します。さらには、市から奨励金が出されて利用している。

## 1. 住民の高齢化等による役員等のなり手不足への取

		<p>り組みについて 事務局を担っているまちづくりの協議会の高齢化と担い手不足が深刻化している。 各団体から、アンケートを取りながら、今後の取り組みを考えていく。 本市でも、お年寄りと子どもが関わり合う事業をすることで、親御さんとも係わりができ、コミュニティ活動の目的である、地域にすむ同士が知り合い繋がるきっかけづくりができてくるのではないかと考える。</p> <p>2. 地域活動への住民参加の取り組みについて 地域に暮らす人々が地域に関心を持つきっかけづくりが必要です。 一人ひとりが「できる分野」で「できる範囲」で「できること」を、それぞれの状況に応じて、自主的に地域の活動に参加することができる。 地域の活動する団体がお互いの立場を理解し、それぞれの団体の特性を活かす仕組みづくりを行っている。参考になった。</p> <p>3. 若者の地域離れによる地域衰退への取り組みについて PTA 活動などを通じて親子がふれあう活動を行うことにより、40代50代の方からも少しでも地域づくりに参加する若者が増えることを期待する。</p>
	佐藤俊弥	<p>学校の中に様々な施設があつて、様々な世代の方が利用するため地域コミュニティの拠点となっており地域活動の活性化が期待できる。</p> <p>各地域でまちづくり協議会をつくり地域会議を推進していく上での課題である担い手不足の解消に向けた取り組みを学んだ。</p>

※参加議員全員が各調査（視察）先ごとに感想等を記載すること。